

宇都宮文化財マップ

—石の里を訪ねて—



国指定特別史跡・重要文化財・名勝

石造 千手観音立像【大谷寺】

宇都宮市教育委員会

おおやまがいぶつせきぞうせんじゆかんのりゅうぞう
大谷磨崖仏 石造 千手観音立像
(大谷観音)【大谷寺】 ■■■ D・5



この像は、本堂の正面の岩壁に彫られた磨崖仏で、大谷寺の本尊です。千手千眼観自在菩薩といわれ、千の手をもち、それぞれの手に眼をもって、命あるすべてのものを救済するとされています。

岩壁面に仏像を荒彫りし、その上に粘土をつけて形を整え、さらに漆を塗り色をつけたり、金箔をはったりする方法で作られています。

平安時代の初期の作で、弘法大師一夜の作という伝説もあります。

[昭和29年3月20日 国指定特別史跡]

[昭和36年6月30日 国指定重要文化財]

[平成18年8月28日 国指定名勝]

せきぞうでんやくしさんぞん
石造 伝 薬師三尊【大谷寺】 ■■■ D・5



この像は、薬師三尊と伝えられ、中央は薬師如来、向かって右は日光菩薩、左は月光菩薩と推定されています。他の石仏と比べて小さく、龕に納められています。

平安時代初期の作といわれています。

[昭和29年3月20日 国指定特別史跡]

[昭和36年6月30日 国指定重要文化財]

[平成18年8月28日 国指定名勝]

せきぞうでんしゃかさんぞん
石造 伝 釈迦三尊【大谷寺】 ■■■ D・5



この像は、釈迦三尊と伝えられ、中央は釈迦如来、向かって右は菩薩形、左は比丘尼形と推定されています。釈迦如来の衣の一部や唇には昔の朱が残っています。

平安時代後期の作といわれています。

[昭和29年3月20日 国指定特別史跡]

[昭和36年6月30日 国指定重要文化財]

[平成18年8月28日 国指定名勝]

せきぞうでんあみださんぞん
石造 伝 阿弥陀三尊【大谷寺】 ■■■ D・5



この像は、阿弥陀三尊と伝えられ、中央に阿弥陀如来、向かって右は菩薩形、左は比丘尼形と推定されています。

阿弥陀如来の台座の下方には蓮台のようなものがあり、上部には6体の化仏が彫られています。

鎌倉時代の作といわれています。

[昭和29年3月20日 国指定特別史跡]

[昭和36年6月30日 国指定重要文化財]

[平成18年8月28日 国指定名勝]